

## 40代研修

友納先生の「記録について」の研修に参加させていただきました。看護師だけでなく、弁護士の資格を持つ友納先生の講義は、裁判の実例をもとに具体的でとてもわかりやすい内容でした。裁判では証言の裏付けのためにも、



看護記録が資料として重視されます。看護記録は事実を正確に、客観的に記載する必要があります。今回学んだことを看護記録に活かし、正確でわかりやすい記録を記載していきたいと思えます。

那須南病院 薄井 恵



## ポリナビワークショップ

5月15日に開催された、栃木県看護連盟主催のポリナビワークショップに参加させていただきました。普段の業務ではなかなか意識する機会の少ない「政治と看護のつながり」について、改めて深く考える貴重な時間となりました。

ワークショップでは、看護の現場に関わる政策や制度が、どのように政治と関わっているのかについて具体的な事例を交えた説明がありました。特に、医療や福祉に関する法改正や予算配分が、私たち看護職に直接的な影響を与えているという事実を改めて知り、驚きと同時に大きな責任も感じました。

また、模擬投票を実施しグループワークでは他の参加者と意見を交わす機会があり、それぞれの立場からの考えや課題意識を共有することができました。同じ看護職でも職場や経験年数によって視点が異なることに気づき、非常に刺激を受けました。



今回のワークショップを通じて、「看護の声を政治に届けること」の重要性を実感しました。今後は、選挙や政策提言といった社会参加にも目を向け、看護職としての視点を少しでも社会に活かせるよう行動していきたいと思えます。

最後に石田まさひろさん当選おめでとうございます！！

佐野厚生総合病院 石岡 麻梨



## 会員研修会

総会終了後、「看護の未来と看護代表議員の果たす役割」をテーマに石田昌宏政策秘書である五反分正彦氏より講演がありました。看護職に国会で仕事させることは、自分たちの未来を安定させること。選挙で代表を国政に送り出すことは、憲法で保障された国民の権利である。と述べられていました。看護職が一丸となり三度国政へ送り出すことを参加者で決意しました。

